

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年10月22日（木）
- 2 確認箇所
No. 3、4重油タンク
- 3 確認項目
No. 3、4重油タンク解体状況

4 確認結果の概要

原子炉建屋5・6号機の海側に設置されていたNo. 3、4重油タンク※については、東北地方太平洋沖地震の津波により損傷を受けたことから、本年6月より解体に向けた作業が進められている。（図1）

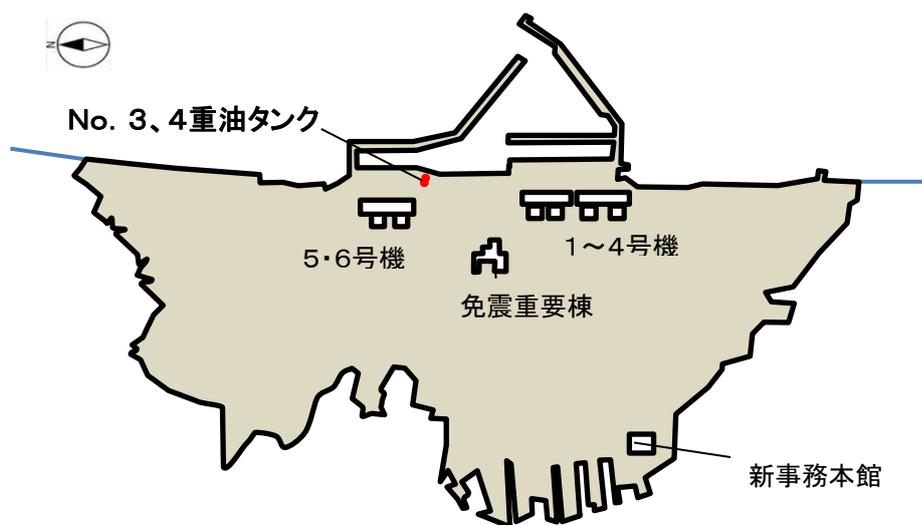
前回の調査（[令和2年9月16日](#)）において、重油タンク本体の解体工事が近日中に着手される予定であったことから、今回、状況を確認した。

- ・重油タンク2基の解体は完了しており、現場には解体片が仮置きされていた。また、解体片は搬出に向けて重機により減容化が進められていた。

（写真1～2）

- ・重油タンク設置場所の防油堤については、重機により解体が進められていた。（写真3）

※ 重油タンク 直径：11m、高さ：9m、重量：32t



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
NO. 3、4重油タンクの外観
(令和2年9月16日撮影)



(写真1-2)
重油タンク解体後の状況
(令和2年10月22日撮影)



(写真2)
重機による減容化の状況



(写真3)
防油堤の解体状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。